

産業建設常任委員協議会

活性化につながるか 地域交流商業施設

5月27日に協議会が開催され、鮎貝地区地域交流商業施設整備事業について説明を受けた。

【経過】

事業概要は、議会だより「3月定例会号」のとおりである。用地については、さくらの保育園東側を想定し、敷地全体を南北に分け、北側に地域交流商業施設と駐車場を整備し、南側に各年代層が利用できる交流スペースを整備する。

商業施設については、5月27日現在で、株式会社ファミリーマートより店舗出店協力の打診が届いており、運営者もあわせて検討中である。

質疑

店舗形態は

【委員】 出店協力が仮にファミリーマートと決まれば、コンビニ形態の店舗となるのか。

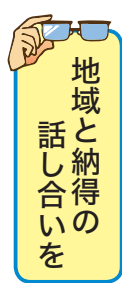
【当局】 ミニスーパーというイメージである。コンビニ商品の他に、生鮮食料品等を置けるような店舗にしたい。



既存店との共存共栄は

【委員】 店舗の計画・運営の方法については具体的に決まっていないうと思うが、既存の商店との共存共栄は。

【当局】 地元の商店の方々とも話し合いを進めてきたが、いずれの商店も出店・運営までには至らないという判断であった。運営については、準備を進めているが、共存共栄できる形で進めたい。



地域と納得の話し合いを

その他
○林道路線踏査検討業務委託
○新荒砥橋架設に係る管渠添架工事等について説明があった。

議会広報研修

見出しを読めば中身がわかる

5月31日「町村議会広報研修会」が山形市で行われた。講師は、議会広報サポーターの芳野政明氏。

町民の関心が高い議案等を優先し、討論や質疑を含めた審議過程等、議会の活動内容をわかりやすく伝えることが重要であるという事を、実際に発行された議会広報誌を検証しながら学んできた。



初心を忘れず

表紙

紅花と給食

育てて食べたよ

町内の小中学校で育てている紅花が育ち、5月28日に地域の皆さんのお力添えで楽しく間引きをしました。

雨が降り大変でしたが、子供たちの頑張りで紅花の畑はスッキリ。紅花がきれいに咲くことでしょう。間引いた紅花の若葉は調理場でキーマカレーの具になり、翌日の給食で友人たちと美味しく食べました。



雨でも頑張る中学生